富岡ロータリークラブ会報　３月号
発行責任者：クラブ会報委員長　渡辺勇治

第 18 回例会が開催

3 月 16 日水曜日、J ヴィレッジ楢葉において、まん延防止等重点措置解除後　第 18 回例会が 2 ケ月ぶりに開催されました。

1.　会長あいさつ・来賓紹介

こんにちは。すっかり暖かくなり、コロナも若干少なりまして、2 ケ月ぶりの例会が開催できる事に大変感激しております。まず初めに、ロシアの軍事進攻で命を落とされウクライナの方にご冥福を申し上げます。事後報告となりましたが、クラブとしてウクライナ人道支援金の寄付を国際ロータリー日本財団に送金させて頂きました。また、赤井会員からもポケットマネーで多額のご寄付をして頂き、有難うございました。会員の皆様もご協力お願いします。本日はゲストをお招きしております。

ふたば未来学園中学校・高等学校　校長　柳沼英樹様です。後ほど卓話をお願いしております。遠い国の悲しいニュースが続く毎日ですが、東京では、来週桜が開花するそうです。悲しい戦争が 1 日でも早く終わり平和が取り戻せる事を祈っております。

2.伝達式

2020-21 年度　新会員入会者上位クラブ（第三位）
2020-21 年度　財団寄付優秀クラブ（第 10 位）
2020-21 年度　ガバナー補佐　赤井博道殿
ﾏﾙﾁﾌﾟﾙ・ﾎﾟｰﾙﾊﾘｽ・ﾌｪﾛｰ　（第二回）　田中美奈子殿
ﾏﾙﾁﾌﾟﾙ・ﾎﾟｰﾙﾊﾘｽ・ﾌｪﾛｰ　（第一回）　西山由美子殿
米山功労者マルチプル（第三回）　西山由美子殿

3.委員会報告

●ロータリー財団委員会
15 人　29 口　29,000 円
（柳沼校長先生の卓話を記念して。　遠藤会長）

●米山記念奨学会
17 人　33 口　33,000 円

●スマイルボックス
16 人　22 口　22,000 円
（柳沼校長先生卓話記念して。宮本幹事）
（ふたば未来学園柳沼校長先生卓話有難うございます。藤田会員）

●記念事業ボックス
7 人　7 口　7,000 円

●出席委員会・・・末永委員長
76.92%　累計 79.22%

●社会奉仕委員長　赤井　博道
2021 年 12 月の大型台風の被害に遭われた、セブ島での災害支援として、現地の Tagum North ロータリークラブの活動の紹介をします。寄付により、給水タンクローリー 1 台を用意し、被害地区への給水奉仕活動です。

4. ゲスト卓話

ふたば未来学園中学校・高等学校
校長　柳沼（やぎぬま）　英樹（ひでき）様

日頃は、皆様に大変お世話になっております。生徒の人生を豊かにしていくための目標として、学力の向上・進路の選択日々取り組んでおります。今日は最近の生徒の活動をお話させて頂きます。
まず、本校の校旗は、福島県の大地に鉄骨を組立て

るように、未来を作っていくイメージです。校章は、たんぽぽの綿毛が飛び、さまざまな場所・地域で花を咲かせてほしいという目標を表現しました。
双葉郡に震災前にあった５つの高校を震災後復興ビジョン「中・高一貫校の設置」として作られました。開校当初Ｈ２７年一期生は、双葉郡にゆかりのある生徒８割でしたが、現在はふたば未来の立ち上げから８年が経過して、双葉郡関係者は、少なくなっております。現在は、3 割位です。私は、当初から携わりましたので、152 名の一期生には、特別の思いがあります。

建学の精神と理念

【教育目標】・・・自らを変革し、
地域を変革し、
社会を変革していく
「変革者」を育成する
↑
「主体性」「協働性」「創造性」

【目指す学校像】
- ●生徒が主体的に動く学校
- ●失敗を恐れず困難な課題に挑戦する生徒を支え、応援する学校
- ●現実社会の中で学ぶ学校
- ●地域・コミュニティや世界と共に学ぶ学校
- ●夢を開く窓がたくさんある学校

探求を通じて育成を目指す資質・能力

●未来創造探求：科学的心理を追求する調査研究＋混沌とした現実社会での実践

人材育成要件・ルーブリック

学力概念・・・各項目をレベル５段階表示
- ・知識　A　社会的課題に関する知識・理解
  - B　英語活用力
- ・技能　C　思考力　　D　創造力
  - E　表現・発信力　F　マネージメント力
- ・人格　G　前向き・チャレンジ
  - H　寛容さ　I　能動的市民性
- ・自らを振返り変えていく力　　J　自分を変える力

ふたば未来学園中学校・高等学校の概要

●３つの系列からなる総合学科
①アカデミック系列・・進学に対応した科目選択
②ﾄｯﾌﾟｱｽﾘｰﾄ系列・・部活動に連動スポーツ選択
③ｽﾍﾟｼｬﾘｽﾄ系列・・農業、商業、工業、福祉科目選択

●「未来創造学」中学校➡週 2 時間
高等学校➡週 8 時間
高等学校定員　一学年 160 名　中学校同 60 名

双葉郡８町村との連携事例

- ●高校１年次生フィールドワーク、演劇
- ●「地域創造と人間生活」での地域課題との遭遇
- ●「地域創造と人間生活」での地域課題解決の探求・実践（高校１年次）
- ●「未来創造探求」での地域解決の探求・実践（高校２・３年次）
- ●未来創造探求でのプロジェクト・・常時約 200

「未来創造探求」でのこれまでの地域協働事例

①高校生と考える廃炉座談会
②地域交換留学
③鉄卵という地域の可能性
④地域の特産物で地域を活性化・魅力発信へ
⑤風評以外をなくし、住み続けられる街づくりへ
⑥双葉郡休校５校の風化を防ごう

海外研修～世界への発信と探求学習への還元～

- ●１年次　ベラルーシ・ドイツ
- ●２年次　ニューヨーク・国連本部等

生徒たちの成長～変革者としての資質・能力の伸長

●ルーブリックの各資質・能力について生徒たちは、半年に１回自己評価を実施し、自身の成長要因について自己分析。

地域・社会に貢献する明確な目的意識

●社会とどう関わっていくかを見出した。
●自分の価値観を考えることに繋がる

併設中学校の開校（平成 31 年 4 月開校）

- 深い学び・高い学力
- 世界に飛び出す学び
- 実践力をみがく「未来創造学」
- 未来の主人公となる学び

毎週水曜日は、イングリッシュデーとなってます。
挨拶・会話全て英語です。（教師・生徒共）
体験を通して、校歌を手話で歌っております。

中学校の取組事例

演劇・コミュニケーションを高める
NPO カタリバとの協働

震災後に誕生した学校ですが、比較的に精神的学を実践しております。本校の視察を積極的に受け入れて、学校の取組を全国に発信していきたいと思っております。
どうぞ、皆様の御協力・ご支援をお願いします。
遠藤会長より
身近にユニークな取組がある事を認識しました。
学校の理念　地域と社会の奉仕活動は、当クラブの目指す奉仕活動と同じです。

本日は、大変興味深いお話を有難うございました。
4 月からは、磐城高等学校　校長に異動されます。

5. 退会のご挨拶
福島民報社　ふたば南支局長　山崎　理史様

入会して 4 年でした。当初 J ビレッジは再開してませんでした。4 年間の思い出として、50 周年記念事業に立会えた事は、大変貴重でした。まだロータリー歴が短かったので、歌ったり、踊ったりする事に慣れませんでした。皆様との人脈を生かしながら、あぶくま抄の欄で、いろんな事を紹介していきたいと思っております。楽しみにして下さい。また、私の声を聞きたい時は、ラジオ福島「デスクからのニュース紹介」週 2・3 回の予定で、美声？が聞こえます。チャンネルを合わせて思い出して下さい。
4 年間、本当に有難うございました。

6. 幹事報告　　幹事　宮本政範
次回例会は、4 月 6 日（水）J ヴィレッジ
3 月 27 日（日）ﾛｰﾀﾘｰﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟ研究会パート II
3 月 31 日（木）夜ノ森クリーンアップ清掃
13：30～
4 月 17 日（日）　ロータリー奉仕デー
岩沢海水浴場　海岸清掃　　集合 9：50
開始 10：00～

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
3 月 31 日付け退会（会社異動により）
J ヴィレッジ　　取締役専務　鶴本久弥様
ふくしま民友社　ふたば支局長　辺見祐介様
今後一層のご活躍をお祈り申し上げます。

☆事務局よりお願い
例会の出欠を必ずお知らせくださいますようお願いします。